

梅雨クイズ 全30問

Q1. 6月ごろの、雨が多く続く季節を何という？

- ① 梅雨（つゆ）
- ② 紅葉（こうよう）
- ③ 雪まつり

ヒント：「梅」の字が入っています。

答え：① 梅雨（つゆ） 6月ごろの長雨が続く季節を「梅雨」と書きます。

Q2. 梅雨を代表する、青やピンクに咲く花は？

- ① ひまわり
- ② チューリップ
- ③ あじさい

ヒント：雨に濡れた姿が美しい花です。

答え：③ あじさい あじさいは梅雨の代表的な花。土の性質で色が変わります。

Q3. 雨の日に「晴れますように」と願ってつるす、白い人形は？

- ① かかし
- ② てるてる坊主
- ③ こけし

ヒント：軒先につるす、白い布で作る人形です。

答え：② てるてる坊主 てるてる坊主は晴天を願うおまじない。かかしは鳥よけです。

Q4. 梅雨どきによく見かける、殻を背負ってゆっくり歩く生き物は？

- ① かたつむり
- ② ちょうちょ
- ③ ありんこ

ヒント：つのを出したり引っ込めたりします。

答え：① かたつむり かたつむりは湿った日が好きで、梅雨の風物詩です。

Q5. 雨の日に、ぬれないように外で差すものは？

- ① 扇子（せんす）
- ② 傘（かさ）
- ③ うちわ

ヒント：雨を頭の上で防ぎます。

答え：② 傘（かさ） 梅雨は傘が手放せません。扇子やうちわは涼をとる道具です。

Q6. 梅雨どきの湿気で、食べ物やお風呂場に生えやすいものは？

- ① 氷
- ② 砂糖
- ③ カビ

ヒント：青や黒のぼつぼつができます。

答え：③ カビ 高温多湿の梅雨はカビが生えやすい季節。換気と掃除が大切です。

Q7. 梅雨のころ、田んぼで「ケロケロ」と鳴く生き物は？

- ① すずむし
- ② せみ
- ③ かえる

ヒント：ぴよんぴよん跳ねます。

答え：③ かえる 梅雨のころ田んぼでかえるが鳴きます。すずむしは秋、せみは夏です。

Q8. 梅雨の前後に収穫し、干したり漬けたりする果実は？

- ① 梅（うめ）
- ② りんご
- ③ みかん

ヒント：「梅雨」にも入っている字の果実です。

答え：① 梅（うめ） 梅は6月ごろが収穫期。梅干しや梅酒づくりが楽しめます。

Q9. 梅雨の空をおおう、雨を降らせる雲の色は？

- ① まっ赤
- ② 灰色（はいいろ）
- ③ 黄金色

ヒント：どんよりした、暗い色です。

答え：② 灰色（はいいろ） 雨雲は灰色で空をおおいます。晴れた日の雲は白く見えます。

Q10. 梅雨が終わり、本格的な夏になることを何という？

- ① 梅雨明け（つゆあけ）
- ② 雪解け
- ③ 年明け

ヒント：梅雨が「明ける」と書きます。

答え：① 梅雨明け（つゆあけ） 梅雨明けとともに、暑い夏がやってきます。

Q11. 梅雨入りの目安とされる、6月11日ごろの暦の日を何という？

- ① 立春（りっしゅん）
- ② 入梅（にゅうばい）
- ③ 土用（どよう）

ヒント：梅雨に「入る」と書きます。

答え：② 入梅（にゅうばい） 入梅は梅雨入りの目安。実際の梅雨入りは年や地域で前後します。

Q12. あじさいの花の色が変わるのは、おもに何と関係している？

- ① 風の強さ
- ② 気温
- ③ 土の性質（酸性・アルカリ性）

ヒント：育てる「つち」によって変わります。

答え：③ 土の性質（酸性・アルカリ性） 酸性の土だと青、アルカリ性だと赤・ピンクになりやすいです。

Q13. 梅雨に長雨をもたらす、日本付近に停滞する気象のラインは？

- ① 梅雨前線（ばいうぜんせん）
- ② 赤道
- ③ 日付変更線

ヒント：「梅雨」の名がついた前線です。

答え：① 梅雨前線（ばいうぜんせん） 梅雨前線が停滞すると、長く雨が続きます。

Q14. 梅雨なのに、雨がほとんど降らないことを何という？

- ① 大雨
- ② 豪雪
- ③ 空梅雨（からつゆ）

ヒント：「空」っぽの梅雨と書きます。

答え：③ 空梅雨（からつゆ） 空梅雨は雨が少ない梅雨。水不足が心配される年もあります。

Q15. 旧暦5月（今の6月）の長雨を指す、古くからの言葉は？

- ① 春雨（はるさめ）
- ② 五月雨（さみだれ）
- ③ 時雨（しぐれ）

ヒント：松尾芭蕉の句にも登場します。

答え：② 五月雨（さみだれ） 五月雨は梅雨の長雨。時雨は晩秋から冬の通り雨です。

Q16. 梅雨のころ、夜にきれいな水辺でおしりが光る昆虫は？

- ① ホタル
- ② カブトムシ
- ③ テントウムシ

ヒント：暗い水辺でやさしく光ります。

答え：① ホタル ホタルはきれいな水辺で見られ、初夏・梅雨の風物詩です。

Q17. 「雨降って地固まる」ということわざの意味は？

- ① 雨の日は地面がぬかるむ
- ② もめごとの後、かえって良い関係になる
- ③ 雨が続くと寒くなる

ヒント：雨で地面がしまる様子から生まれた教えです。

答え：② もめごとの後、かえって良い関係になる トラブルの後にかえって絆が深まることのとえです。

Q18. 霧のように細かく、しとしと降る雨を何という？

- ① 土砂降り
- ② 夕立
- ③ 霧雨（きりさめ）

ヒント：霧のように細かい雨です。

答え：③ 霧雨（きりさめ） 霧雨は細かい雨。土砂降りや夕立は激しく降る雨です。

Q19. 梅雨で外に干せないとき、洗濯物を室内に干すことを何という？

- ① 部屋干し
- ② 天日干し
- ③ 虫干し

ヒント：「部屋」の中に干します。

答え：① 部屋干し 梅雨は部屋干しが増える季節。生乾きのにおい対策が悩みどころです。

Q20. 梅雨の気圧や湿度の変化で起こりやすい、頭痛やだるさを何という？

- ① 五月病
- ② 夏バテ
- ③ 気象病（きしょうびょう）

ヒント：「気象」によって起こる不調です。

答え：③ 気象病（きしょうびょう） 気圧や湿度の変化で不調が出ることを気象病と呼びます。

Q21. 「梅雨」を「つゆ」と読むようになった由来として有力な説は？

- ① 「梅雨入り」を早口で言ったから
- ② 梅の実が熟して潰れる「潰ゆ（つゆ）」から
- ③ 冷たい「氷雨」がなまったから

ヒント：梅の実が「つぶれる」様子からきた説です。

答え：② 梅の実が熟して潰れる「潰ゆ（つゆ）」から「潰ゆ」が語源とする説が有力。露からとする説もあります。

Q22. あじさいの「花びら」に見える部分は、実は何でしょう？

- ① がく（萼）
- ② 根
- ③ 葉っぱ

ヒント：本当の花は中心の小さな粒です。

答え：① がく（萼） 花びらに見えるのは「がく」。本当の花は中心の小さな部分です。

Q23. かたつむりと、なめくじの一番の違いは？

- ① 色
- ② 触角の数
- ③ 殻があるかないか

ヒント：背中に「家」を背負っているかどうかです。

答え：③ 殻があるかないか かたつむりは殻あり、なめくじは殻なし。実は近い仲間です。

Q24. かたつむりの口の中には、何があるでしょう？

- ① 大きな牙が2本
- ② 1万本以上ともいわれる小さな歯
- ③ 歯は1本もない

ヒント：とても小さな歯がびっしり並んでいます。

答え：② 1万本以上ともいわれる小さな歯 かたつむりは「歯舌」という無数の小さな歯を持っています。

Q25. 北海道では梅雨がないとされますが、まれに続く長雨を何という？

- ① 蝦夷梅雨（えぞつゆ）
- ② 秋雨
- ③ 菜種梅雨

ヒント：北海道の昔の呼び名「蝦夷」が入ります。

答え：① 蝦夷梅雨（えぞつゆ） 北海道は本来梅雨がないとされ、まれな長雨を蝦夷梅雨と呼びます。

Q26. 梅雨明けの後、再び雨が続くことを何という？

- ① 走り梅雨
- ② 空梅雨
- ③ 戻り梅雨（もどりつゆ）

ヒント：梅雨が「戻って」くる現象です。

答え：③ 戻り梅雨（もどりつゆ） 戻り梅雨は梅雨明け後に再び雨が続く現象。返り梅雨ともいいます。

Q27. 梅雨入り前の5月ごろ、梅雨のように降るぐずついた雨を何という？

- ① 戻り梅雨
- ② 走り梅雨（はしりづゆ）
- ③ 空梅雨

ヒント：梅雨の前に「走って」やってくる雨です。

答え：② 走り梅雨（はしりづゆ） 走り梅雨は梅雨入り前のぐずついた天気。梅雨の前ぶれです。

Q28. 梅干しのすっぱさのもとで、疲れをとる働きもあるとされる成分は？

- ① クエン酸
- ② 炭酸
- ③ 鉄分

ヒント：名前に「酸」がつきます。

答え：① クエン酸 すっぱさはクエン酸。疲労回復に役立つといわれます。

Q29. 雨上がりに七色の橋がかかる「虹」。おもにできる理由は？

- ① 雲が燃えているから
- ② 海の色が空に映るから
- ③ 太陽の光が空気中の水滴で曲がり、七色に分かれるから

ヒント：光が水の水ぶで分かれて七色に見えます。

答え：③ 太陽の光が空気中の水滴で曲がり、七色に分かれるから
虹は太陽光が雨つぶで屈折・分解されて七色に見える現象です。

Q30. 梅雨と同じように、秋にも前線が停滞して降る長雨を何という？

- ① 春雨（はるさめ）
- ② 秋雨（あきさめ）
- ③ 時雨（しぐれ）

ヒント：「秋」の長雨です。

答え：② 秋雨（あきさめ） 秋雨は9～10月ごろの長雨。前線の停滞で起こります。